

経営比較分析表（平成30年度決算）

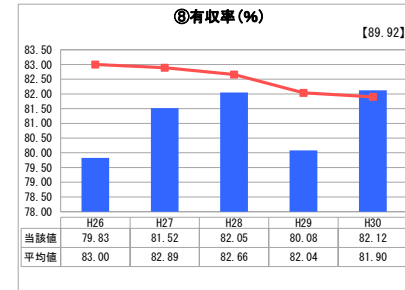
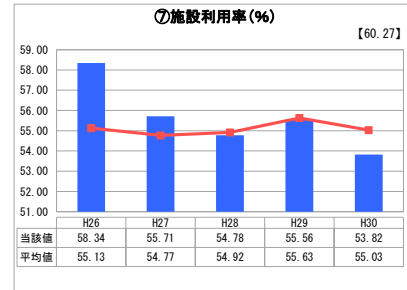
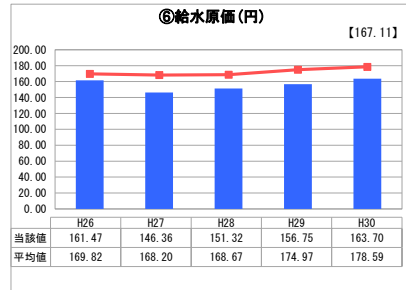
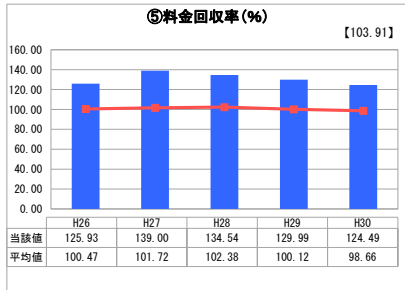
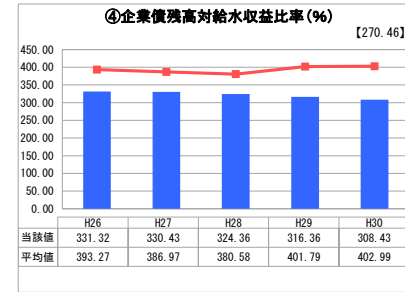
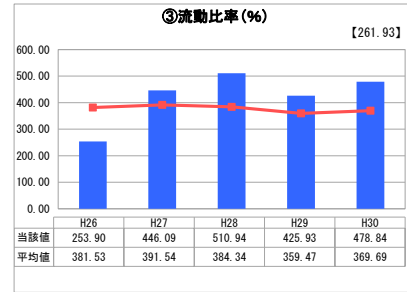
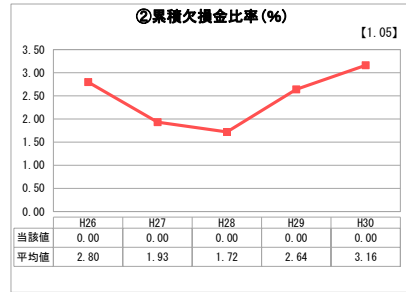
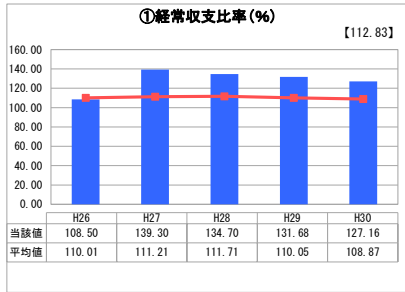
山形県 尾花沢市大石町環境衛生事業組合（事業会計分）

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	75.64	74.23	4,320	

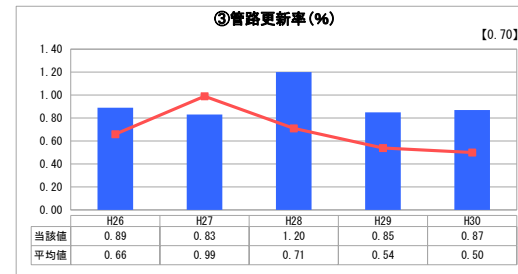
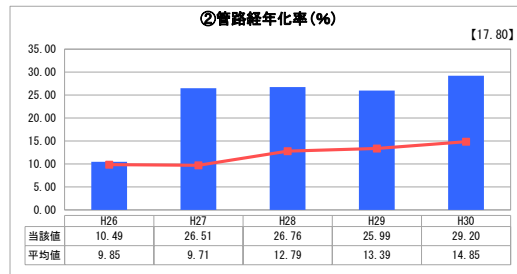
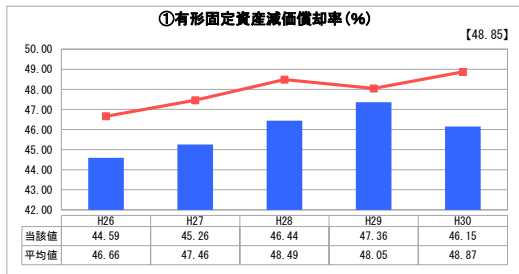
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,177	58.88	291.73

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は前年に比べて減少しており、料金回収率も年々減少傾向にある。一方で、企業債残高対給水収益比率は平均値を下回り年々減少傾向にあることから、計画的な借り入れ、償還が行われていることが分かる。今後も事業の健全運営について継続的に取り組んでいく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路更新率は前年に比べて上昇しており、全国平均を上回っている。今後も老朽管の布設替など、管路更新について計画的かつ効率的に取り組む必要がある。

全体総括

経常収支比率や料金回収率は平均値を上回っており、企業債残高対給水収益比率は平均値を下回り減少傾向にあることから、経営改善の努力が数値として現れている。
老朽化については、管路経年化率が平均値を上回っていることから、老朽管の布設替・更新が最大の経営課題であることが分かる。今後も多額の資金需要が見込まれるため、これまで以上に効率的な事業経営に努めなければならない。
また、将来的にも有収水量の減少が予想されるため、施設能力や劣化の状況を把握しながら、適正規模での施設更新を図っていく必要がある。